

城北小学校開校に向けた地域説明会 次第

日時：令和5年(2023年)12月13日(水)午後6時30分～ 場所：常盤小ランチルーム

12月14日(木)午後6時30分～ 戸狩小ランチルーム

12月19日(火)午後6時30分～ 東小ランチルーム

12月20日(水)午後6時30分～ 泉台小ランチルーム

1 開 会

2 あいさつ

3 城北小学校の開校計画等について

(1) 開校計画について

(2) 各部会・分科会等の検討状況

4 質疑応答

5 その他

6 閉 会

【参考】これまでの経過

年月	会議等名称 ※（ ）内は会議等開催場所	対象	内容
R2. 11～12	飯山の新たな学校づくりを考える地域説明会（市内7小学校）	地域全体	城南中学校区及び城北中学校区の今後の小学校・中学校の統合整備計画「飯山の新たな学校づくり計画（案）」について説明。 ※並行し、R2. 11～12の1か月間に、計画案についての意見公募（パブリックコメント）を実施。
R2. 12	「飯山の新たな学校づくり計画」策定		
R3. 6	城北中学校区新統合小学校建設基本計画（案）の検討、及び校舎基本設計開始		
R3. 8	新しい学校づくり意見交換会（城北中学校区4小学校（以下「4小学校」と表記））	4小学校の保護者・教職員	建設基本計画や基本設計検討の参考とするため、その時点での計画素案や基本設計素案について保護者や教職員と意見交換を行った。
R3. 10	城北中学校区新統合小学校整備事業にかかわる地域懇談会（4小学校）	地域全体	建設基本計画（案）、基本設計（案）について説明し、意見を伺った。
R4. 12	・城北中学校区新統合小学校新統合小学校建設基本計画 策定 ・城北中学校区新統合小学校基本設計 完成		
R4. 4	飯山市城北中学校区新統合小学校開校計画推進会議を発足。開校に向けた教育計画、通学方法、その他各項目の検討を開始。		
R4. 11～12	城北中学校区新統合小学校開校に向けた地域懇談会（4小学校）	地域全体	推進会議での各事項の検討状況について説明し、意見を伺った。
R5. 6	学校名を「城北小学校」に決定		
R5. 7	城北小学校整備にかかる地域説明会（戸狩小学校）	地域全体	城北小学校の校舎工事完成が当初の計画から遅れる旨の説明を行った。
R5. 9	城北小学校開校に向けた地域懇談会（4小学校）	地域全体	R5. 9現在の開校計画等の内容を説明し、意見を伺った。
R5. 12	城北小学校開校に向けた地域説明会（4小学校）	地域全体	これまでの地域や保護者の皆さんからいただいた意見を踏まえて進めてきた開校計画を説明。

懇談会等でお聞きしたご意見・ご要望等は、地域の代表者（区長等）、保護者、教職員に参加いただいている推進会議内の各委員会・部会等の検討において対応を検討し、計画の作成を進めてきました。

「城北小学校開校に向けた地域懇談会」(R5.9開催)で出された意見と推進会議としての考え方(案)

No.	関係部会等	会場	意見	意見に対する推進会議としての考え方
1	通学	戸狩	通学バスの帰りはどうなるのか。	①低学年等（主に1・2年の5時間授業）の下校 ②高学年（及び部活なし中学生）の下校 ③アフタースクール利用児童（及び部活あり中学生）の下校 にあわせた3便の運行を検討している。
2	通学	戸狩	通学路について、太田地区から徒歩で通学となるにあたり、水田の間の道路を通学路として整備される予定はありますか。（車両のすれ違いが狭い、歩道がない、冬期はさらに狭く低学年が1人で通えるのか不安）	いただいたご意見を踏まえ、管理者等と検討していきたい。
3	通学	戸狩	私は太田五荷区に住んでおります。記載の表では五荷区の場合、通学距離が2.7キロで、1～3年が路線バス、4～6年が夏は徒歩、冬は路線バスとなっております。夏季の徒歩に関してですが、小学生の足で1キロ歩くのには概ね15～20分程度と言われています。2.7キロの場合、理論上は40.5～54分で着く計算となります。ただこれに加え、坂道や酷暑など様々な要因を踏まえて考えると、かなり厳しいのではないかとというのが意見です。恐らく実際には1時間以上は掛かると思われます。私自身も学生時代に五荷区から旧第三中学校まで通っていましたが、中学生の足でも1時間弱は通学に要しておりました。 上記の事を踏まえると、新校舎の立地的にも夏季の「～3km徒歩」という条件を見直した方が良いのではないかと考えます。線引きが難しいかと思いますが、近年の猛暑などを考えると「最大2キロ徒歩40分程度」が妥当ではないかと思えます。	懇談会や保護者アンケート等を踏まえて決定した通学基準・通学方法でご理解いただきたい。
4	通学	泉台	尾崎のバス停はどこになるか。	今後検討し決定する。
5	通学	泉台	通学に関する個別の要望について、あらゆる機会を通じて吸い上げてほしい。	そのように考えている。
6	通学	泉台	山口区の夏のバス停が藤ノ木公会堂となっているが、国道わたるのは危険。冬場に回れるなら夏場も回れるはずなので、通年で山口公会堂にしてほしい。	通学方法等検討委員会、地域懇談会、保護者アンケート、当該小学校区保護者で行った意見交換会等を経て決定しており、現地を確認した。提案のバス停位置でご理解いただきたい。

No.	関係部会等	会場	意見	意見に対する推進会議としての考え方
7	通学	泉台	山口のバス停位置は夏が藤ノ木公民館、冬のバス停は山口公民館となっているが、夏場も山口公民館ではダメなんですか。中学校のスクールバスは山口公民館で、年間通じて乗降していますが。小学生は藤ノ木公民館まで国道を渡って、時間をかけて行くことになりますか？	同上
8	通学	泉台	子どもたちの体力が心配。バスの到着場所を坂道下で整備したらどうか。	バス運行時間等考慮し到着場所の変更は難しいが、いただいたご意見を学校とも共有し、体力の低下を起こさないような教育ができるよう、教育計画を検討していきたい。
9	通学	東	スクールバスは、ピストン運行（例：1台のバスで1便目として瑞穂地区のバス停から学校まで児童生徒を送り届けた後、2便目として常盤地区のバス停へ行き児童生徒を乗せて学校まで送り届ける、というような運行）する区間もあるとのことだが、余裕を持って運行してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、安全第一で運行する。
10	通学	東	通学バスでの事故は絶対にあってはならない。運転（ドライバー）に対しての今後も定期的な安全指導、ドライバーの健康確認（管理）も行ってもらいたい。	同上
11	通学	東	通学バスのダイヤについてですが、決定する前の計画状況をこまめに伝えてほしい。何度も意見を伝えられる機会を作るべき。	運行ダイヤ案は、地域説明会等で示していく予定。
12	通学	東	通学バスが中学生と同じになる時間帯があるが、トラブル等（いじめなど）に対する予測予防対策も強化してほしい。	児童が安心して通学できるよう、バス内に限らず小中学校が連携していく。
13	PTA	常盤	PTA子ども会の活動はどうなるのか。子どもが減ってきており、今の枠組みのままでは継続が難しい。	児童数・家庭数の減少を考慮しながら、PTA再編成検討分科会で検討したい。
14	PTA	泉台	PTAの組織はいつ決まるか。決定後に示すのではなく、検討経過を示してもらい、いろいろな意見を取り入れてほしい。	PTA再編成分科会では、各小学校選出の委員の皆さんに案を各校へ持ち帰り意見を取りまとめてもらいながら、検討を進めており、引き続き各校の保護者の皆さんに情報共有しながら検討を進めていきたい。
15	PTA	泉台	PTAがどのような活動になるか。親の意見が反映できるのか？途中経過がわかるとよいと思います。	同上
16	PTA	東	クラス役員等の選出方法を今からでも詳しく聞きたい。	同上
17	後利用	常盤	旧校舎の後利用として、地元のスポーツクラブ等で使えないか。	校舎後利用検討委員会に意見を伝える。
18	運動服	戸狩	運動服について、開校後も前の学校のものを着ていると、運動会など統一感がないのでやめた方がよいのでは。上の学年には一着分を補助してはどうか。	いただいた意見を踏まえ、今後検討していきたい。

No.	関係部会等	会場	意見	意見に対する推進会議としての考え方
19	運動服	戸狩	保護者の経済負担軽減のため、開校前でも運動服の販売や着用開始を早めて実施してほしい。	アンケート結果や校章等選定の進捗状況踏まえ着用開始時期を決定しているが、着用開始時期については令和6年4月は間に合わないが、それ以降で改めて検討したい。
20	運動服	泉台	運動服の色が、夏場は暑いのではないか。	アンケート結果を基に選定したため、ご了承いただきたい。
21	運動服	泉台	運動着の紺は衛生面でどうなのか（暑い）	同上
22	運動服	泉台	丁寧な説明会でした。ありがとうございました。運動着は通年を通して着る機会があるので、冬場の早く暗くなる時期は目立たず、下校時など心配なことがあります。反射材の使用なども検討していただきたいと思います。	関係部会等に意見を伝える。
23	運動服	東	新小学校の体操服のデザインを中学校と同じにして、中学校でも使用できるようにしてほしい。	これまでの検討の中で、小中で同デザインにした場合に、家庭の購入価格が2倍程度になることを踏まえ、独自のデザインを選定した経過があるため、了承いただきたい。
24	運動服	東	新しい運動服について、上着と長ズボンが薄い生地のため、冬の間大丈夫かなと心配の声がありました。保温、速乾を考えての決定でしたら安心です。	他の生地等も検討したが、今回選定した生地が一番保温性に優れているため決定した。
25	児童クラブ	常盤	児童クラブは夏休み等の長期休みは朝から開館するのか。	現在、市内児童クラブ共通の開館時間は午前8時となっている。
26	児童クラブ	泉台	（学校休業日に）朝、児童クラブへ行くためのバスを出してほしい。	児童クラブ利用者のためのバス運行は予定していない。
27	児童クラブ	東	スクールバス下校について、児童クラブへの移動はバスを利用できないか。また低学年の児童クラブ利用者が、高学年の下校のスクールバスに乗車することはできないか。	同上
28	児童クラブ	東	土曜日の児童クラブは保護者送迎か。	児童クラブへの送迎は保護者にお願いしている。
29	児童クラブ	東	児童クラブの仮利用施設（勤労青少年ホーム）は希望児童が利用できる広さか。	そのように考えている。
30	児童クラブ	東	戸狩の児童センターは7年度利用中止か。	児童センター機能は、令和7年3月末で終了となる。
31	児童クラブ	東	児童クラブへの保護者迎え時、自家用車が混雑しないか。	支障が出ないよう運営方法を検討したい。
32	児童クラブ	東	児童クラブは戸狩小学校の空き教室を活用することとし、旧小学校ごとに児童クラブを設置することが良いのではないか。	仮校舎内に児童クラブを設置するための空き教室は確保できない。
33	児童クラブ	東	児童クラブの場所がこれまでより遠くなる分、延長をぜひお願いしたい。（仕事の都合で迎えが間に合わない）	いただいたご意見を踏まえ検討していきたい。

No.	関係部会等	会場	意見	意見に対する推進会議としての考え方
34	児童クラブ	泉台	児童クラブは朝8時より早くできないか？スクールバスの利用ができれば。	開館時間は、いただいたご意見を踏まえ検討していきたい。児童クラブ利用のためのスクールバス運行は考えていない。
35	児童クラブ	東	土曜日や学校休業日の児童クラブの開始時間を、7時30分からに早めてほしい。	同上
36	児童クラブ	東	勤労青少年ホームで行われる児童クラブへは、先生方が引率していただけるのでしょうか。	開校当初、安全な児童クラブ利用のための引率について検討したい。
37	スポーツ活動	常盤	(刈込) スキークラブは泉台や東と合同でも練習している。再編するにあたり備品や規約の整理が必要。	引き続きスポーツ活動再編成分科会を中心に、課題や対応を検討していきたい。
38	教育計画	戸狩	課外クラブへの助成金等一律徴収でなく、気持ちある人をお願いしたい。	推進会議で検討していきたい。
39	教育計画	常盤	後援会費等の理念は。	同上
40	教育計画	戸狩	4月の開校前などにスクールバスの試乗テスト実施等、準備をしっかりと行ってほしい。	児童が安心して通学できるよう、市教委・学校で連携して検討していきたい。
41	教育計画	東	現4年生、統合時卒業へと向かう6年生は、新校舎で過ごすことができず、途中から大切な最後の1年をそのように過ごすので、子どもたちに対する配慮を十分にしてほしい。	同上
42	教育計画	東	統合、しかも4校での統合という事で、子どもたちの精神的不安、生活の変化は大きいものになる。そういったことに対し、様々なツールでのケアを絶対に用意してほしい。	同上
43	教育計画	戸狩	不安な気持ちの子どもいると思う。教職員の特別な配置は考えているのか。	同上
44	教育計画	戸狩	仮校舎を使用することとなり、戸狩以外の小学校の児童にしてみると環境が2度変わることになるので、養護教諭を2名配置するようなことも考えていただきたい。	同上
45	教育計画	常盤	保育園児の交流。今後、毎年年長の児童の交流をお願いしたい。	今後の検討課題としていく。
46	教育計画	泉台	私服登校にしてほしい。衛生面から。⇒更衣室が必要。	学校へ意見を伝える。
47	推進会議、市教委	戸狩	仮校舎（戸狩小）は古くは2学級あり面積はあるが、単級になり年月長い。教室の機能を持たせるため掃除等が必要。先生子どもの負担にならないように。	配慮していきたい。
48	推進会議、市教委	戸狩	来年（令和6年度）は地域説明会等を行う予定はあるか。	進捗状況を地域の皆さんに知ってもらえるよう、より良い情報発信の方法を検討していきたい。

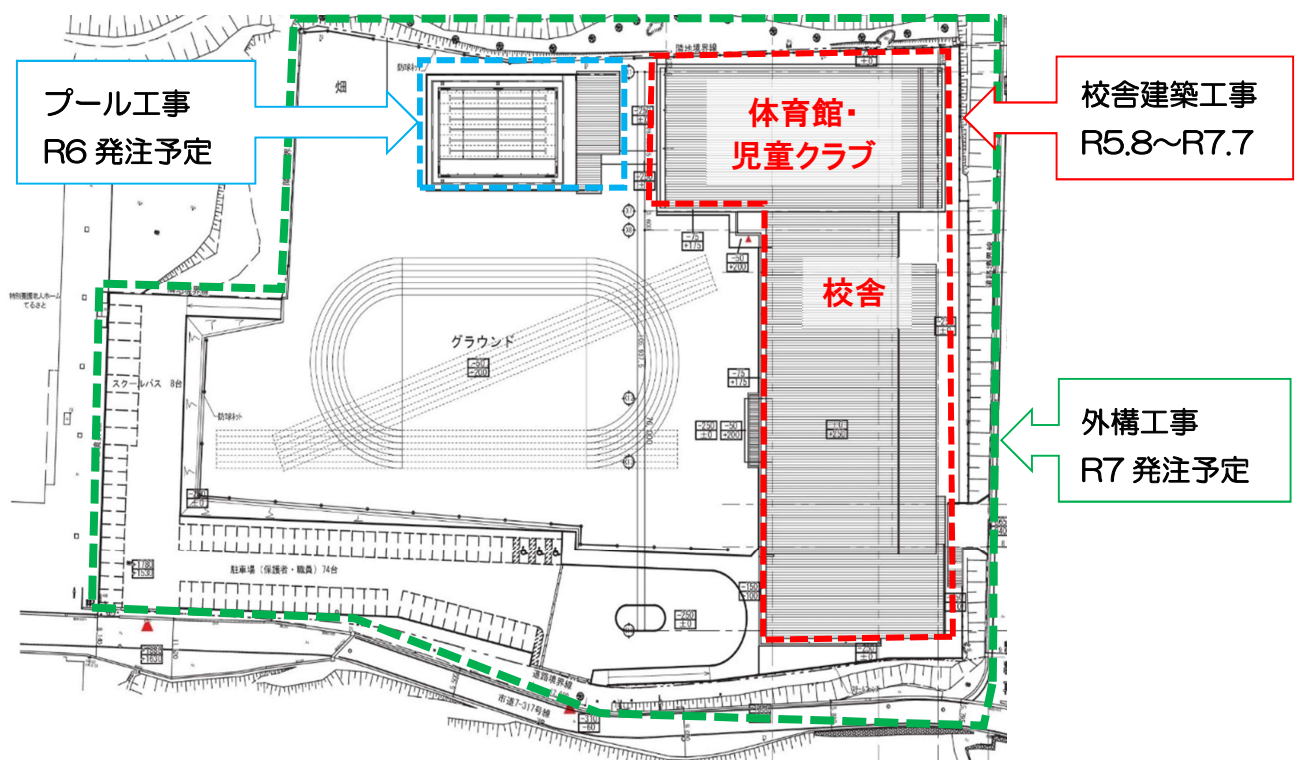
No.	関係部会等	会場	意見	意見に対する推進会議としての考え方
49	推進会議、市教委	戸狩	参加がたくさんあると良いと思いました。	同上
50	推進会議、市教委	常盤	市道を拡幅しないのか。（大塚～城北小学校）	令和7年度に向け、順次、市道の改良工事を実施予定。
51	推進会議、市教委	泉台	運動会の際など、保護者が大勢集まる際の駐車スペースは確保できるか。	城北中学校の敷地使用も含め、検討していきたい。
52	推進会議、市教委	泉台	7月31日に戸狩小で行った地域説明会でどんな内容の説明があったのか。	飯山市ホームページに掲載している次第及び資料のとおり。
53	推進会議、市教委	泉台	統合にあたり教職員の特別な配置をお願いしたい。	児童が安心して通学できるよう、市教委・学校で連携して検討していきたい。
54	推進会議、市教委	泉台	校舎完成後に保護者や地域への内覧会はあるか。	実施に向け検討したい。
55	推進会議、市教委	泉台	道路整備のスケジュールを教えてください	こまめに情報発信していきたい。
56	推進会議、市教委	泉台	（今さらながら）城跡はあるものの城はないが校名に城を入れることに。	—
57	推進会議、市教委	泉台	2回の引越は教職員に大きな負担。	いただいたご意見を踏まえ検討していきたい。
58	推進会議、市教委	泉台	地域懇談会の資料（お知らせ）に、検討課題などをわかりやすく書いてもらえると、わかりやすいと思います。	同上
59	推進会議、市教委	泉台	中途半端に仮校舎を使わずに、新校舎で始めることはできないのか？開校を1年のばして、翌年4月から新校舎で開校ではダメなのですか？泉台小学校だと、2回校舎が変わるので、子どもが対応できるか心配です。	仮校舎・新校舎と変わっても、児童が安心して通学できるよう、市教委・学校で連携して検討していきたい。
60	推進会議、市教委	泉台	駐車場は十分あるの？	いただいたご意見を踏まえ検討していきたい。
61	推進会議、市教委	東	準備から会議おつかれ様でした。前回や他会場にて出たアンケート内容や質疑に対する回答の開示が必要なのではないのかな、と思いました。	同上

No.	関係部会等	会場	意見	意見に対する推進会議としての考え方
62	推進会議、市教委	東	戸狩小の元気のよい子どもたちの所に入っていくというのは、なかなか勇気がいると思います。子どもたちの中で、戸狩の子は強い、他の子たちは弱い立場になってしまわないか心配です。やはり自分の学校という立場は強いです。なので、仮校舎はみんなが違う学校の方がいいのかなと思いました。	児童が安心して通学できるよう、市教委・学校で連携して検討していきたい。
63	建築工事	戸狩	工期が再延長になることはないか。	再延長がないよう工事を進めていきたい。
64	建築工事	常盤	用品を置く倉庫、体育館ステージ階段の常設化、ｽｷｰ置場の拡張等希望。	いただいたご意見を踏まえ検討していきたい。
65	建築工事	常盤	ｽｷｰ、野球等グラウンドに備品置場の倉庫が欲しい。	同上
66	建築工事	泉台	吹き抜けのブックメディアラウンジなど、安全に配慮してほしい。	同上
67	建築工事	泉台	教室配置ですが、2階に4学年が集まり、他学年の様子がわかる半面、学級が落ち着かない状態が起きた場合、影響力が大きいと思う。	同上
68	建築工事	東	建設工事にあたり、完成を急ぐあまりに質が落ちないように、しっかりと良いものを建設してほしい。	安全に配慮し工事を進めていきたい。
69	建築工事	東	建設中～引越期間、事故等のないよう、十分に管理してほしい。	同上
70	建築工事	東	新校舎の開校が4月に間に合わないのは仕方がないので、工事関係者の方にはあわてずに工事を進めていただきたい。令和7年に間に合わなければ、それはそれで仕方がないので、延長してでもしっかりした校舎を作っていただきたい。	同上

城北小学校のすがた

(1) 校舎建築工事の概要

- 工事名 令和5～7年度新たな小学校づくり事業（仮称）城北中学校区新統合小学校建築工事
- 工事期間 令和5年8月29日から令和7年7月15日まで(予定)
- 工事概要
 - 構造種別：鉄骨造 構造形式：ラーメン構造
 - 用途：小学校(児童クラブ併設) 規模：地上2階
 - 建築面積：4536.09㎡ 延床面積：6970.21㎡(うち児童クラブ304.71㎡)
- 契約金額 33億6,600万円(税込)
- 工事施工業者 サンタキザワ・越後屋・宮本園 特定建設工事共同企業体



工事スケジュール(予定)

工種	令和5年度		令和6年度			令和7年度	
	8～11月	12～3月	4～7月	8～11月	12～3月	4～7月	8～11月
準備工	■■■■■		}			}	
杭	■■■■■		}			}	
基礎		■■■■■	}			}	
鉄骨			■■■■■	■■■■■	■■■■■	}	
屋根				■■■■■	■■■■■	}	
外装				■■■■■	■■■■■	}	
設備		■■■■■	■■■■■	■■■■■	■■■■■	}	
プール				■■■■■	■■■■■	}	
外構						■■■■■	■■■■■

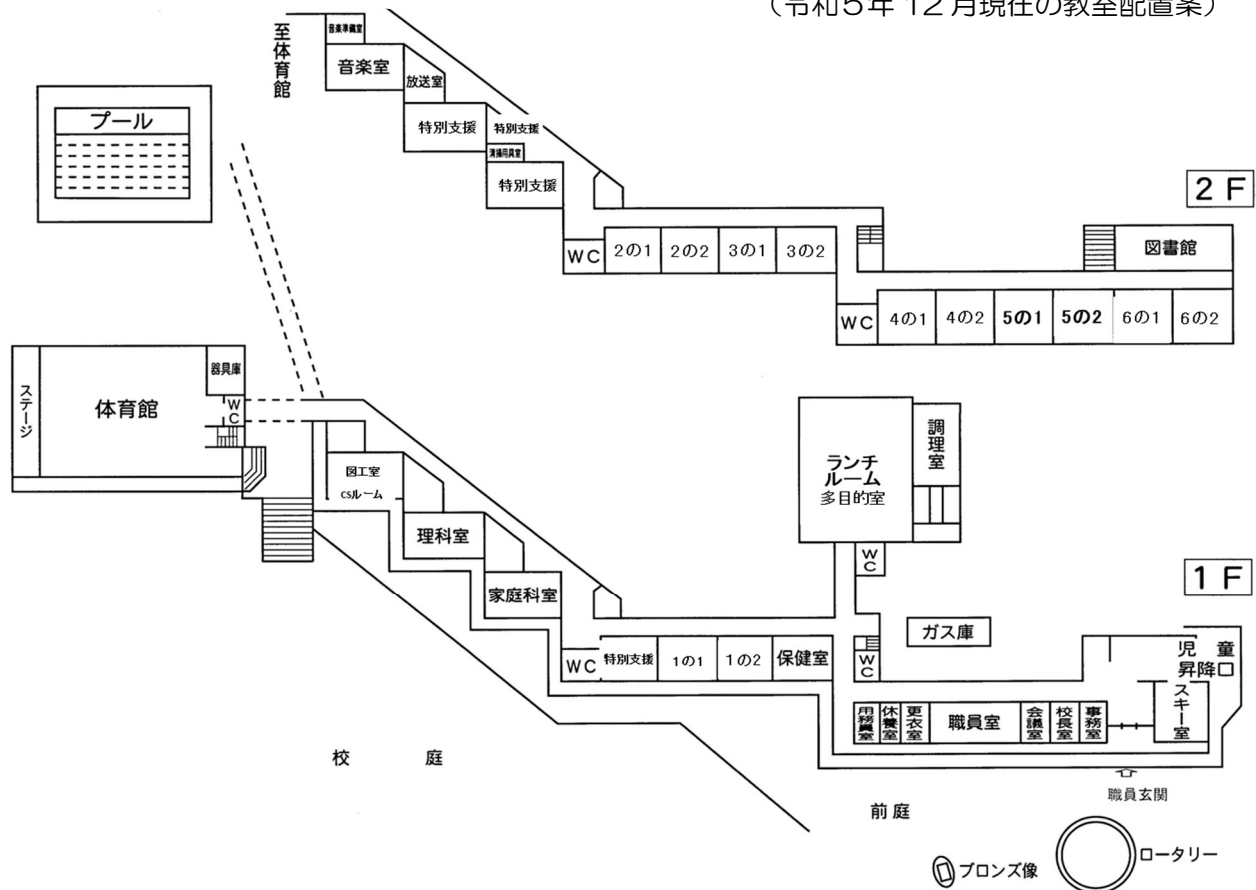
■新校舎(令和7年(2025年)2学期から使用)での教室等配置計画



2

■仮校舎(現・戸狩小学校校舎、令和7年(2025年)1学期のみ使用)での教室等配置計画

(令和5年12月現在の教室配置案)



(3) 開校計画

1 城北小学校の開校日

令和7年4月1日(予定) ※入学式及び開校式の期日は今後決定します

2 新校舎での授業開始

令和7年度二学期より(予定)

3 開校後の校舎等施設の使用および通学方法について

(1) 令和7年4月から使用する校舎について

令和7年4月1日から令和7年8月末の期間は、新校舎が建築中(引越作業含む)であるため、「戸狩小学校」校舎を城北小学校の仮校舎として使用します。

(2) 仮校舎への通学方法について

仮校舎への通学方法は、原則として「城北小学校区域別通学方法」のとおりとしますが、徒歩による通学区域の児童のうち、仮校舎になったことにより基準を超える通学距離となる児童については、仮校舎を使用する期間はバス通学とします。(⇒詳しくは8~13ページをご覧ください)

(3) 仮校舎使用期間中の児童クラブ利用について

新校舎完成までの、児童クラブの利用については、現在、戸狩児童センターとして使用している「飯山市勤労青少年ホーム」を使用します。(戸狩児童センターは令和7年3月で閉所)

(4) 仮校舎から新校舎への移転日程について

仮校舎での授業実施は、一学期が終わる7月下旬までとします。夏休みは、7月下旬から8月下旬(予

定)までとします。

(5) 書類・備品等の移動について

新校舎完成後、令和7年度の夏休み中に仮校舎やその他の既存小学校校舎から新校舎への書類・備品等の移動を行います。なお、児童クラブの備品等の移動も同時期に行います。

(6) 放課後子ども教室実施について

放課後子ども教室(アフタースクール)の実施は、令和7年度二学期からとします。

4 閉校・開校行事、教育計画等について

(1) 閉校記念行事等について

城北中学校区の4つの小学校(戸狩小、常盤小、泉台小、東小)では、閉校に向けた、記念行事・記念式典の実施、記念誌(パンフレット)の作成等を、各学校で計画し実施します。

(2) 学級編制について

各学年のクラス数(見込)は次ページのとおりですが、令和7年4月からの各学年の学級編制発表(クラス発表)は、同年3月に予定しています。

(3) 開校式及び開校記念式典について

城北小学校の「開校式」は入学式と同日(令和7年4月初旬)に行います。また城北小学校の「開校記念式典」は、新校舎の完成後、令和7年9月初旬(予定)に実施します。

(4) 仮校舎使用に伴う開校に向けた開校準備委員会での検討について

開校準備委員会の各部会等では、これまでの計画通りに統合に向けた準備作業を進めていきます。

(5) 仮校舎使用に伴う学校教育計画の作成について

令和7年度の学校教育計画の作成に当たって、一学期の間は仮校舎での学校生活となることを念頭に入れた教育計画を作成します。

(4) 児童数

令和5年5月1日現在

学年	児童数	学級数
1年	46	2
2年	42	2
3年	36	2
4年	40	2
5年	37	2
6年	59	2
小計	260	12
特別支援学級 (通級指導教室等含む)		4
合計	260	16



城北小学校の教室イメージ

2 校名

(1) 検討経過

令和4年 7～8月	校名分科会（統合する4小学校の保護者及び教員9名で構成）で校名募集及び選定方法を検討。校名を公募することと決定。
同 9月20日～10月21日	校名募集（要項を定め、市民及び想いや願いのある小学生以上から広く募集）
同 12月6日～12月12日	校名分科会で10案に絞り込み、評価項目を設け審査。
同 12月28日	開校計画推進会議において、審査点の最も高かった校名案「飯山虹の丘小学校」を選定。
令和5年 1月～2月	定例校長会・定例教育委員会・議員全員協議会等にて校名案を報告。
同 3月15日～4月14日	新統合小学校校名案へのご意見を市民の方々から広く募集。
同 4月24日～5月10日	「飯山虹の丘小学校（推進会議で選定した案）」、「城北小学校（R5.3～4月実施の意見募集で最も多い案）」、「その他」の3つで、城北中学校区の児童・保護者、及び同校区内の未就学児の保護者を対象にアンケート実施。
同 5月18日	推進会議においてアンケート結果等の経過を踏まえ校名最終選定案を協議し、最も回答が多かった「飯山市立城北小学校」を選定。
同 5月22日	飯山市総合教育会議、教育委員会（5月定例会）において、アンケート結果及び校名最終選定案を報告。
同 6月8日	新統合小学校名を明記した「飯山市学校設置条例の一部を改正する条例（案）」を市議会に上程。
同 6月	新統合小学校名を明記した「飯山市学校設置条例の一部を改正する条例（案）」を市議会6月定例会に上程。採決により校名が決定。

(2) 校名の決定

市議会の議決（議決日：令和5年6月28日）を経て、以下のとおり校名等が決定しました。

- | | |
|-------|--|
| ●学校名 | 飯山市立 <small>じょうほく</small> 城北小学校 |
| ●選定理由 | 学校名アンケート結果を踏まえ、地域になじみがあり、隣接する城北中学校との小中連携教育を実施するにあたっての一体感も考慮し、開校計画推進会議において選定した。当初の校名案にある「虹」の持つ意味合い（7つの地区から子どもが集まる、多様性のシンボル、夢や希望の象徴 等）は、学校教育計画、日々の教育活動等で生かしていくこととする。 |
| ●所在地 | 飯山市大字照里 2025 番地 |

3 校歌

(1) 検討経過～今後の予定

令和4年7月～ 令和5年3月	校歌分科会（統合する4小学校の保護者、教員、有識者10名で構成）で校歌制作方法を検討し、校歌コンセプトを検討したうえで、作詞作曲はコンセプトに基づき専門家に依頼することを決定。
令和5年8月	校歌の作詞者を山崎浩氏、作曲者をTAIRIK氏に決定。
同 10月	作詞・作曲者懇談会を開催。
同 10月～ 令和6年9月	作詞者・作曲者による校歌制作作業
令和6年9月頃（予定）	校歌の完成
令和6年10月～ 令和7年3月	開校に向けた城北小学校校歌の歌唱練習

(2) 作詞者、作曲者のご紹介

【作詞】^{やまざき ひろし}山崎 浩 さん

飯山市出身、清泉女学院短期大学教授。音楽家、作曲家、合唱指揮者としても幅広くコンサート活動を展開。毎年東京・長野を中心にリサイタルを行なっている。作曲家としての代表作にCDアルバム「ありがとう ころをこめて」（キングレコード）、「金子みすゞの詞による歌曲集“蜂と神さま”」（カワイ出版）、作詞では飯山市立城南中学校及び城北中学校校歌も担当。セイジオザワ松本フェス、小林研一郎と仲間たち合唱団等でも合唱指導者として参加した他、合唱指揮者として、長野市、飯山市ほかでベートーヴェン第九市民合唱団を指導している。

作詞・作曲を担当いただく方々より

城北小学校の旅立ちにあたり、学校のシンボルである「校歌」をTAIRIKさんと創らせていただけることに心躍らせています。皆さんが誇りに思っ歌ってくださるような、元気になれるような作品を、心をこめて綴ります。 **山崎 浩**

小学校時代は当たり前のように、何にも考えずに校歌を歌っていましたが、今でも母校の校歌は覚えています。後から振り返った時に故郷を懐かしく思うような、飯山の心を感じられるような校歌を作りたいと思います。山崎浩さんとコラボレーションさせて頂き、城北小学校の校歌を担当できることを心から嬉しく思います！ **TAIRIK**

【作曲】^{た い り く}TAIRIK さん

長野県出身、桐朋学園大学音楽部 同大学院修了。ヴァイオリニスト、ヴィオリスト、作曲家。ヴァイオリン&ピアノ3人によるユニット TSUKEMEN のメンバーとしても活動しており、アルバム『HAPPY キッチン』など、リリースしたCDはクラシック・チャート1位を次々と獲得。海外でもアメリカ、アジア、ヨーロッパなどで700本を超える舞台に立ち、50万人以上の観客を魅了している。長野では、テレビ信州で密着ドキュメンタリー特番を2010年より毎年放送。市内では、飯山市文化交流館なちゅらで今年6月に公演を開催。



山崎浩さん（写真左）とTAIRIKさん

4 校章

(1) 検討経過～今後の予定

令和4年7月～ 令和5年5月	校章分科会(統合する4小学校の保護者及び教員9名で構成)で校章選定方法を検討し、公募することとし、募集要項や選定方法を決定。
令和5年7月3日～ 8月3日	校章デザイン原案募集 (応募数 小学生 143 案、一般 24 案)
同 8月	校章分科会及び有識者により応募のあった校章デザインから最終候補3案を選定。
同 9月29日～ 10月13日	城北中学校区の小学校児童、小学校児童及び保育園児の保護者を対象に、最終候補3案について最終選考アンケートを実施
同 11月	アンケート結果に基づき、開校計画推進会議で校章デザインを決定

(2) 決定した校章デザイン

アンケート集計結果に基づき、最も得票数の多かった以下のデザインを、城北小学校の校章デザインとして決定しました。



デザイン原案応募者

飯山市立戸狩小学校 小田切柑奈さん

デザインに込めた思い

統合する4校の特徴を取り入れたデザイン。菜の花は東小、かまくらは泉台小、千曲川は水害に負けない常盤小を表します。それらを取り囲む雪の結晶は、スキー場があり雪深い戸狩小を表すとともに4校の児童がキラキラとかがやきながら、仲良く学校生活を送れるようにという願いをこめました。

5 運動服

(1) 検討経過～今後の予定

令和4年7月	運動服分科会(統合する4小学校の保護者、教員、9名で構成)で運動服の仕様検討にあたり、保護者アンケートを実施することを決定。
令和4年8月～9月	運動服の仕様(形状、色、素材等)等に関する保護者アンケート実施
令和5年3月	運動服仕様の決定
令和5年7月	運動服デザインに関する保護者アンケート実施
令和5年8月	アンケート結果に基づき運動服デザインを決定
令和7年1月～2月(※)	城北小学校の運動服注文受付
同 3月 (※)	注文のあった運動服の引き渡し
同 4月1日～(※)	城北小学校運動服の着用開始(統合前の小学校運動服も着用可能)

※運動服の着用開始時期については、令和5年9月に開催した地域懇談会でいただいたご意見を踏まえ、現在改めて検討を行っているため、今後、変更となる場合があります。

(2) 運動服デザイン

運動服のデザイン（形状等）は、保護者アンケート結果を元に以下のとおり決定しています。

上着



半袖シャツ



長ズボン



短パン



決定した校章をプリントした運動服サンプルも完成しました！

6 通学方法

(1) 検討経過～今後の予定

令和4年6月～9月	通学方法等検討委員会（城北小学校区の区長、保護者、小中学校教頭、警察署交通規制担当者など27名で構成）において、現状の市内全体の小中学校の通学方法の課題の確認を行ったうえで、市内小中学校通学基準及び城北中学校区新統合小学校の通学方針（素案）を検討。
令和4年11月	「城北中学校区新統合小学校開校に向けた地域懇談会」（4小学校で開催）において、通学方法素案への意見を地域の方から聞き取り。
令和4年12月	「令和7年度からの小中学校通学方法等に関する保護者アンケート」の実施（対象：市内全小中学校の児童生徒（小学3年生以上）保護者）
令和5年1月	地域懇談会及び保護者アンケートで出された、通学路やバス停計画地の安全や積雪状況等の確認。（事務局）
令和5年2月	「通学方法等に係る意見交換会」（4小学校で開催）において、修正したバス停位置や通学路等の案についてワークショップ形式で意見の聞き取りを実施。
令和5年3月	経過を踏まえて修正した、市内小中学校通学基準（令和7年度～）及び城北中学校区新統合小学校通学方針について、委員会として承認。
令和5年3月	通学方法等検討委員会で決定した市内小中学校通学基準（令和7年度～）及び城北中学校区新統合小学校通学方針について、推進会議で決定。
令和5年～ 令和6年（予定）	通学基準や城北小学校の区域ごとの通学方法について、個別の事情で配慮が必要な家庭等について、通学方法の検討を実施していく。

(2) 小学校児童及び中学校生徒の通学基本方針(令和7年度から)

令和7年4月からの市内小中学校の通学基準は以下のとおりです。

市内小学校児童・中学校生徒の通学は徒歩通学を原則とします。

ただし学校までの通学距離が一定を超える場合等は、以下のとおりとします。

【以下、(1)(2)は小中学校共通、(3)は中学校の通学基準となります】

- (1) 遠距離通学となる3km以上(低学年2.5km以上)の児童及び5km以上の生徒への通年通学支援。(冬期は2.5km以上の児童及び3km以上の生徒)
通学支援の対象となる地域の通学方法は、以下の中から居住地域によって飯山市教育委員会が指定するものとします。
 - ・JR、路線バス等運賃に対する補助(全額)。
 - ・スクールバスの運行。
- (2) 個別の児童生徒の安全な通学のための例外的な措置および、橋梁を利用しなければならない地域や、風雨・風雪・地理条件等を特に考慮すべき地域への通年又は冬期通学支援。
- (3) 通学距離が概ね3km以上の地域における夏期自転車通学の認可。
 - ・利用者(保護者含む)が必要に応じて自転車通学を学校長へ申請。
各学校の運営(きまり)に基づき認可を行う。
 - ・認可条件(自己による自転車保険加入及び点検等)を含むとともに各学校での講習を受講。

※各小中学校における区域ごとの通学方法(徒歩又はバス等)は本基本方針に基づき飯山市教育委員会が別に定めますが、令和7年4月以降の通学の実情等に応じ、見直しの必要があると認められる場合は、その都度見直しを行います。

(3) 城北小学校 区域別通学方法

城北小学校児童の通学方法は以下のとおりです。なお、「スクールバス」による通学区域においては、小中学生が朝や時間が重なる下校時に、同じバスに同乗して登下校する計画です。

■徒歩通学区域

地区	区域名	学年	通年又は夏期(4~10月)のみ
外様	尾崎	全学年	通年
常盤	小泉・大塚・上野・戸狩新田・戸狩	全学年	通年
	下水沢・大倉崎	4~6年生	夏期のみ(冬期:スクールバス)
太田	柳沢・五束・堀之内・小境・大深	全学年	通年
	五荷・今井	4~6年生	夏期のみ(冬期:路線バス)
	北条(上種除く)	4~6年生	夏期のみ(冬期:スクールバス)

※上記のうち以下の区域は、仮校舎に通学する令和7年の1学期の期間は、通学距離が徒歩通学基準より遠くなるため、路線バス又は学校バスによる通学となります。

- ・外様地区: 尾崎(全学年)
- ・常盤地区: 小泉(1~3年生)、大塚・上野(全学年)、下水沢・大倉崎(4~6年生)

■路線バス(長電バス・温井線)による通学区域

地区	区域名	学年	通年又は冬期(11~3月)のみ
太田	三郷・曽根・蕨野・瀬木	全学年	通年
		1~3年生	通年
	五荷・今井	4~6年生	冬期のみ(夏期は徒歩)
岡山	桑名川(柄山・土倉)・羽広山・温井	全学年	通年

■スクールバスによる通学区域及び運行ダイヤ(案)

①令和7年度1学期(仮校舎使用期間)

区域	使用車両	バス停及び学校到着時刻	
【柳原地区】 小佐原・四ツ屋・南条・上新田・笹川	中型①-1	柳原活性化C 7:10 → 泉台小 7:13 → 城北中 7:30 → 城北小(着) 7:35	
↓ 折り返し2便目へ ↓			
【外様地区】 中条・法寺・顔戸・中曽根・尾崎	中型①-2	春日屋 7:50 → 法寺 7:53 → かまくらハウス 8:00 → 城北中(着) 8:05 → 城北小(着) 8:10	
【瑞穂地区】 神戸・富田・戸那子・中組	中型②-1	中組区民C 7:10 → 神戸公民館 7:15 → 城北中(着) 7:30 → 城北小(着) 7:35	
↓ 折り返し2便目へ ↓			
【常盤地区】 戸隠・柳新田・小沼・大塚	中型②-3	倉科商店 7:50 → 常盤小学校 7:55 → 大塚公民館 8:00 → 城北小(着) 8:05	※R7. 1学期は中学生乗車なし
【柳原地区】 涌井・大川・山口・藤ノ木	マイクロバス①	涌井 7:35 → 大川 7:39 → 藤ノ木 7:44 → 城北中(着) 8:00 → 城北小(着) 8:05	
【瑞穂・常盤地区】 北原・柏尾・大倉崎	マイクロバス②-1	大倉崎作業所 7:10 → 柏尾集会所 7:20 → コハ建築工房 7:25 → 城北中(着) 7:35 → 城北小(着) 7:40	
↓ 折り返し2便目へ ↓			
【常盤地区】 大池・上水沢・下水沢	マイクロバス②-2	上水沢公民館 7:50 → 常盤活性化C 7:55 → 城北小(着) 8:05	※R7. 1学期は中学生乗車なし
【瑞穂地区】 福島・関沢	マイクロバス③	福島三叉路 7:37 → 関沢公民館 7:45 → 城北中(着) 8:00 → 城北小(着) 8:05	
【瑞穂地区】 小菅・笹沢・針田	ハイエース①-1	小菅 7:10 → 針田 7:15 → 笹沢 7:20 → 城北中(着) 7:35 → 城北小(着) 7:40	
↓ 折り返し2便目へ ↓			
【常盤・太田地区】 小泉・北条(上種含む)	ハイエース①-2	小泉公会堂 7:50 → 北条作業所 7:55 → 城北小(着) 8:05	※R7. 1学期は中学生乗車なし
【岡山地区】 西大滝・藤沢(第一・第二)・桑名川・下境・上境	ハイエース②	西大滝駅 7:15 → 齊藤たばこ店 7:20 → 第10分団詰所 7:30 → 上境駅 7:45 → 城北小(着) 8:00 → 城北中(着) 8:05	

②通常時の夏期ダイヤ案(令和7年度は2学期当初～10月末)

区域	使用車両	バス停及び学校到着時刻			
【柳原地区】 小佐原・四ツ屋・南条・上新田・笹川	中型①-1	柳原活性化C 7:15	→ 泉台小 7:18	→ 城北小中(着) 7:35	
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【外様地区】 中条・法寺・顔戸・中曽根	中型①-2	春日屋 7:50	→ 法寺 7:53	→ かまくらハウス 7:58	→ 城北小中(着) 8:05
【瑞穂地区】 神戸・富田・戸那子・中組	中型②-1	中組区民C 7:15	→ 神戸公民館 7:20	→ 城北小中(着) 7:35	
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【常盤地区】 戸隠・柳新田・小沼	中型②-2	倉科商店 7:50	→ 常盤小学校 7:55	→ 城北小中(着) 8:05	
【柳原地区】 涌井・大川・山口・藤ノ木	マイクロバス①	涌井 7:35	→ 大川 7:39	→ 藤ノ木 7:44	→ 城北小中(着) 8:05
【瑞穂、常盤地区】 北原・柏尾・大倉崎	マイクロバス②-1	大倉崎作業所 7:15	→ 柏尾集会所 7:25	→ コバ建築工房 7:30	→ 城北小中(着) 7:40
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【常盤地区】 大池・上水沢・下水沢	マイクロバス②-2	上水沢公民館 7:50	→ 常盤活性化C 7:55	→ 城北小中(着) 8:05	
【瑞穂地区】 福島・関沢	マイクロバス③	福島三叉路 7:37	→ 関沢公民館 7:45	→ 城北小中(着) 8:05	
【瑞穂地区】 小菅・笹沢・針田	ハイエース①-1	小菅 7:15	→ 針田 7:20	→ 笹沢 7:25	→ 城北小中(着) 7:40
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【太田地区】 北条(上種含む)	ハイエース①-2	北条作業所 7:50	→ 城北小中(着) 8:05		
【岡山地区】 西大滝・藤沢(第一・第二)・桑名川・下境・上境	ハイエース②	西大滝駅 7:20	→ 齊藤たばこ店 7:25	→ 第10分団詰所 7:35	→ 上境駅 7:50
					→ 城北小中(着) 8:05

③通常時の冬期ダイヤ案（11月～3月）

区域	使用車両	バス停及び学校到着時刻			
【柳原地区】 小佐原・四ツ屋・南条・上新田・笹川	中型①-1	柳原活性化C 7:15	→ 泉台小 7:18	→ 城北小中 (着) 7:35	
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【外様地区】 法寺・顔戸・中曽根	中型①-2	法寺 7:53	→ かまくら ハウス 7:58	→ 城北小中 (着) 8:05	
【瑞穂地区】 神戸・富田・戸那子・中組	中型②-1	中組区民C 7:15	→ 神戸公民館 7:20	→ 城北小中 (着) 7:40	
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【常盤地区】 下水沢・戸隠・柳新田	中型②-2	常盤小学校 7:52	→ 常盤 活性化C 7:55	→ 城北小中 (着) 8:05	
【柳原地区】 涌井・大川・山口・藤ノ木	マイクロバス ①-1	涌井 7:08	→ 大川 7:12	→ 山口公民館 7:17	→ 藤ノ木公民館 7:20
					→ 城北小中 (着) 7:35
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【外様地区】 中条	マイクロバス ①-2	春日屋 7:53	→ 城北小中 (着) 8:05		
【瑞穂、常盤地区】 北原・柏尾・大倉崎	マイクロバス ②-1	大倉崎 作業所 7:15	→ 柏尾集会所 7:25	→ コバ 建築工房 7:30	→ 城北小中 (着) 7:40
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【常盤地区】 大池・上水沢	マイクロバス ②-2	上水沢公民館 7:55	→ 城北小中 (着) 8:05		
【瑞穂地区】 福島・関沢	マイクロバス ③-1	福島三叉路 7:10	→ 関沢 公民館 7:18	→ 城北小中 (着) 7:35	
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【常盤地区】 小沼	マイクロバス ③-2	倉科商店 7:50	→ 城北小中 (着) 8:05		
【瑞穂地区】 小菅・笹沢・針田	ハイエース ①-1	小菅 7:15	→ 針田 7:20	→ 笹沢 7:25	→ 城北小中 (着) 7:40
↓ 折り返し2便目へ ↓					
【太田地区】 北条（上種含む）	ハイエース ①-2	北条作業所 7:50	→ 城北小中 (着) 8:05		
【岡山地区】 西大滝・藤沢（第一・第二）・桑名川・下境・上境	ハイエース②	西大滝駅 7:20	→ 齊藤 たばこ店 7:25	→ 第10分団 詰所 7:35	→ 上境駅 7:50
					→ 城北小中 (着) 8:05

④城北小学校・城北中学校の下校時のスクールバス運行計画(案)

■月曜・火曜・木曜・金曜(小学校1～2年:5時間、小学校4年～中学校3年:6時間)				
便番号	発車時刻	利用する児童生徒	区域	使用車両
1 便 目	15:10	・小学校1・2年生	小泉・外様・柳原方面	マイクロ①
			瑞穂方面	マイクロ②
			常盤方面	ハイエース①
			北条・北原・柏尾・岡山方面	ハイエース②
2 便 目 ①	16:10	・小学校3～6年生 ・部活のない中学生	小佐原・四ツ屋・南条・上新田・笹川	中型①
			神戸・富田・戸那子・中組	中型②-1
			涌井・大川・山口・藤ノ木	マイクロ①
			北原・柏尾・大倉崎	マイクロ②-1
			小菅・笹沢・針田	ハイエース①-1
			岡山方面	ハイエース②
			福島・関沢	マイクロ③
2 便 目 ②	16:40	・小学校3～6年生 ・部活のない中学生	外様方面	中型①-2
			戸隠・柳新田・小沼・大塚	中型②-2
			大池・上水沢・下水沢	マイクロ②-2
			小泉・北条	ハイエース①-2
3 便 目	・4月～9月:18:00 ・10月、3月:17:30 ・11月～2月:17:10	・小学生(アフタースクール参加者) ・部活終了後の中学生	柳原方面	マイクロ①
			外様方面	中型①
			瑞穂方面(小菅・笹沢・針田以外)	マイクロ②
			小菅・笹沢・針田	ハイエース①
			常盤方面	マイクロ③
			岡山方面	ハイエース②

■水曜(小学校全学年:5時間(アフタースクールあり)、中学校全学年:5時間(部活動なし))				
便番号	発車時刻	利用する児童生徒	区域	使用車両
1 便 目	15:05	・小学校1～6年生	柳原方面	マイクロ①
			外様方面・太田(北条)	中型①
			常盤方面	中型②
			常盤方面	マイクロ②
			瑞穂方面	マイクロ③
			瑞穂方面	ハイエース①
	15:15	・小学校1～6年生(岡山方面) ・中学校1～3年生(同)	岡山方面	ハイエース②
2 便 目	15:35	・中学校1～3年生	柳原・外様方面	中型①
			瑞穂方面	マイクロ②
			岡山方面(小学校発15:05)	ハイエース②
3 便 目	・4月～9月:18:00 ・10月、3月:17:30 ・11月～2月:17:10 ※アフタースクールの終了時間により時間が変更となる場合があります。	・小学生(アフタースクール参加者)	柳原方面	マイクロ①
			外様方面	中型①
			瑞穂方面(小菅・笹沢・針田以外)	マイクロ②
			小菅・笹沢・針田	ハイエース①
			常盤方面	マイクロ③
			岡山方面	ハイエース②

※上記はいずれも、開校後の児童クラブ・アフタースクール利用者数、中学校部活動参加人数等により運行区域が異なる場合がありますので、現段階の参考としてご覧ください。

7 学校教育計画等（小中連携教育カリキュラム含む）

（１）検討経過～今後の予定

令和５年７月	４小学校の児童へ学校教育計画作成に関わる新しい学校づくりアンケートを実施
同月	４小学校教職員によるグランドデザイン作成に関わる熟議 →「願う子どもの姿」「目指す学校」「統合に関わる課題」について
令和５年８月～	４小学校教職員による「統合準備委員会」の組織 →各部会等で学校教育計画を中心とした細かな教育内容等検討
同月～	城北小学校区７地域の区長会長、公民館長、育成会長、４校コミュニティスクール代表及び教頭で構成する「地域連携活動検討委員会」を発足 →城北小での地域連携行事やふるさと学習等の検討 (令和５年１２月までに学校教育計画へ反映)
令和５年１２月	小中連携カリキュラム原案完成、城北中学校区小中学校に配布 →令和６年度の学校教育計画等へ反映
令和６年３月	グランドデザイン・学校教育計画原案完成
令和６年４月～１１月	統合準備委員会で学校教育計画原案検討
令和６年１２月	グランドデザイン・学校教育計画、小中連携教育カリキュラム完成
令和７年４月～	学校教育計画運用

【飯山市 城北小学校・城北中学校小中連携教育カリキュラム】

小学校６年間、中学校３年間と分断するのではなく、隣接して位置する城北小・中学校が、９年間で意識した教育課程を編成し、共通した指導方法、児童生徒の支援情報の共有化等を実施し、知・徳・体のバランスの取れた質の高い教育を行っていくための計画。

特にＩＣＴの活用、外国語（英語）教育、ふるさと学習の分野について、具体的な連携による教育推進計画をすすめています。

（２）「飯山市立城北小学校」の教育の概要（案）

飯山市立城北小学校では、目指す子どもの姿として、「自己教育力をもち、自分の夢の実現に向け、新たな時代を生き抜く力をもつ子ども」を掲げ、学校教育に取り組みます。

１ 城北小学校の学校像

- （１）基礎基本の定着・探究的な学び等の充実により、学力向上や学力保障を進める学校
- （２）７つの地域の特色を生かした「ふるさと学習」や交流活動を積極的に進める学校
- （３）ICT教育・英語教育等、城北中学校との小中連携教育及びキャリア教育を推進する学校
- （４）多様性を認め、自他を尊重する学校
- （５）子どもを心身ともに健やかに育む学校

２ 具体的な教育内容

- （１）「教科担任制を取り入れた学年担任制」による教育活動

城北小学校では、複数の教職員が担任として児童に関わることができる学年担任制を導入し、一学年2学級編制予定の城北小学校ならではの「教科担任制を取り入れた学年担任制」による教育活動を実践します。(ただし学年の発達段階を考慮し、1・2年生は「学級担任制」を基本とします。)

①学年別の学級運営計画

ア 1～2年生

1・2年生は、学級担任制を基本として一部教科等で教科担任制を取り入れた指導体制とします。その中でも、学年単位での教育活動も教育効果を考慮して適切に取り入れ、3年生に進級した折に、学年担任制にスムーズに移行できるようにします。

一部教科で取り入れる教科担任制を踏まえ、以下のとおり学級運営することを目指します。

- ・二人の担任による国語・算数の授業交換、音楽専科教員による授業等、教科担任制も実施する方向で検討する。
- ・体育は学年合同での授業も可とする。
- ・生活科・図工・学級活動等は、学級担任による授業を基本とするが、柔軟な運用をする。

イ 3～6年生

3～6年生は、学年担任制として二人の教師（A教員、B教員）がその学年の二つの学級（1組・2組）を同時に担任します。実際の運用では、二人の担任教員がそれぞれ1・2組どちらかのチーフティーチャー（学級主任）ともう1つの組のサブティーチャー（学級副主任）を務めます。なお、チーフとサブは年間を通して変更せず、家庭への連絡や、学級にかかわる責任の所在等も明確にしておくようにします。(例 1組担任：チーフA教員、サブB教員 2組担任：チーフB教員、サブA教員)

教科担任制を取り入れながら、以下のような学級運営を行うことを目指します。

- ・音楽、英語（3，4年は外国語活動）等は専科教員による授業を基本とする。
- ・国語、算数、社会、理科、図工、道徳等は学年担任制の授業交換で実施することができる。
- ・体育は学年合同授業も可とする。
- ・総合的な学習の時間・学級活動は、チーフが中心となりつつも、二人の担任による、学年合同、担任の入れ替え等児童の意識や実態に応じ柔軟な運用を行う。

【参考】城北小学校の学級担任制、学年担任制のイメージ

1年～2年生（学級担任制）		3年～6年生（学年担任制）	
1組 【担任：A先生】 学級活動、家庭連絡、通常の教科授業 【A先生】 音楽等 【専科教員】 その他教科（学年の状況に応じ、国語・算数の授業交換、体育の合同授業等柔軟に運用）	2組 【担任：B先生】 学級活動、家庭連絡、通常の教科授業 【B先生】 音楽等 【専科教員】	1組 【担任（学年担任）：A先生およびB先生】 （学級主任：A先生） 学級活動、家庭連絡等 【A先生】 国語・社会・道徳【A先生】 算数・理科・図工【B先生】 ※上記担当教科は一例であり、学年により異なります 音楽、英語（外国語活動）等 【専科教員、外国語は専科教員及びALT（外国語指導助手）】	2組 （学級主任：B先生） 学級活動、家庭連絡等 【B先生】 国語・社会・道徳【A先生】 算数・理科・図工【B先生】 音楽、英語（外国語活動）等 【専科教員、外国語は専科教員及びALT（外国語指導助手）】

② 期待できる効果

上記のような教育を行っていくことで、以下のような効果が期待されます。

ア 子どもにとって

- ・学年担任制により、子どもたちは二人の担任教員のどちらとも気軽に相談でき、よりよい人間関係を築くことや、教科を分けて学習内容の個別指導を受けることもできる。
- ・専門性の高い授業・わかる授業によって、学年全体で学力の向上が期待できる。
- ・子どものための授業実践によって、子どもが登校を楽しみにすることが期待できる。
- ・城北中学校への進学に向けて、小学校段階から教科担任による授業に慣れることで、スムーズな移行ができる。『中1ギャップ』の解消)

イ 教職員にとって

- ・担任教員にとっては、複数の目で子どもの状況を把握することができるので、多角的に児童理解をし、適切に対応することができる。
- ・教材研究をする教科が絞られるので、授業準備をより充実させることができる。
- ・準備にかかる時間も少なくなり効率よく働く（働き方改革の一つ）ことにつながる。

（２）ふるさと学習の充実

①戸狩小・泉台小・常盤小・東小の４つの小学校区、富倉・柳原・外様・太田・岡山・常盤・瑞穂の７つの地域の「人・もの・こと」に学ぶため、「城北小学校ふるさと学習カリキュラム」「城北ふるさと人材バンク」等を活用し、子どもの発達段階に応じたふるさとの良さを感じ取ることができる学習を推進します。

②校区が広範囲に及ぶため、徒歩で行くことのできない地域にも積極的にスクールバスや市バス等を活用して移動し、地域と連携を密にした学びを深めます。

（３）小中連携教育・福祉交流教育の推進

①「小中連携教育カリキュラム」をもとに隣接した城北中学校と小中連携教育を推進し、小中９年間のスムーズな学校生活を送り、教科学習や行事等での交流を進めます。

②近隣の「老人ホームてるさと」、「常岩の里ながみね」等との福祉交流を通して、お年寄りや障がいのある方等、多様な人々とつながる心を育てます。

（４）放課後子ども教室（アフタースクール）の設置

４～６年生は放課後子ども教室「アフタースクール」（城北小中学校コミュニティスクール 学校運営協議会が運営）を希望者が利用できるようにします。

【アフタースクールについて、詳しくは、21 ページをご覧ください。】

（５）主な地域連携活動及び行事（案）

城北小学校区の地域内で行われている地域の行事や、地域資源を生かした学習等について検討しています。

①学校教育活動（案）

菜の花まつりにおける鼓笛隊の参加（６学年）、鍋倉及び黒岩山等自然学習（全学年）、福島棚田における田植えおよび稲刈り（５学年）、戸狩温泉スキー場でのスキー教室（全

学年)、平用水の見学(4学年)ラフティング体験(5学年)、かまぐらの里でのかまぐら体験等(3学年他)、内山紙の卒業証書づくり(6学年)、地域探検学習(1・2学年)

②各地区・各集落が主体となって行う活動(子どもが個別に希望し参加するもの)

- ア 地区公民館および集落公民館、各地区区長会の活動
- イ 地区子ども会や地区育成会が主体となって行う活動
- ウ 各地区の特色ある活動

8 児童の交流活動

城北中学校区の4小学校では、城北小学校で同学年となる児童の交流活動を実施しています。令和5年度1学期には主に戸狩小と東小、泉台小と常盤小の組み合わせで交流しましたが、2学期には相手校を変え、主に戸狩小と常盤小、東小と泉台小で交流を行いました。

新たな取り組みとして、5年生では、千曲川でのラフティング体験を通じた交流を行い、一緒にパドルを漕いだり、川遊びをしたりしました。他の学年でも、音楽会等で練習した歌を互いに披露し聴き合い、他の学校の友だちから大きな拍手をもらう姿が見られ、自分のがんばりを認めてもらえる仲間が増えるという集団が大きくなることのよさを感じながら交流を進めています。

3学期には主に戸狩小と泉台小、常盤小と東小の組み合わせで交流を行い、各学年が全ての学校と交流ができる予定となっています。



戸狩小・常盤小2年生の交流
(令和5年11月)

9 コミュニティスクール

検討経過～今後の予定

令和4年7月～12月	4小学校の学校運営協議会長や教員で構成するコミュニティスクール(CS)再編成分科会において、CS活動内容を共有し、「育てたい子どもの姿」を検討。
令和5年5月	県内先進地を視察(大町市)
令和5年7月～ 令和6年3月(予定)	CS活動内容及び組織案、「放課後子ども教室(仮称:アフタースクール)」(※)実施案の検討及び作成。
令和6年4月～ 令和7年3月(予定)	CS活動、アフタースクール活動に協力いただく、地域人材やコーディネーターの募集、組織づくり。
令和7年4月～(予定)	城北小中学校コミュニティスクール発足
令和7年9月～(予定)	城北小学校アフタースクール発足

※放課後子ども教室(アフタースクール)については、21ページをご覧ください。

10 PTA 再編成について

(1) 検討経過～今後の予定

令和4年7月～ 令和5年9月	4小学校の保護者、PTA組織案、会則案の検討・作成
～令和6年3月（予定）	開校年度のPTA三役選出、PTA会費・活動内容案等の検討
～令和7年3月（予定）	クラス役員等選出（クラス編制発表後）
令和7年4月～（予定）	城北小PTA発足（必要に応じ組織・規則を見直していく）

(2) 令和7年度 城北小学校PTA役員構成

令和7年度開校時のPTA役員構成は以下のとおりとします。なお、開校後のPTA活動の実情に応じて、令和8年度以降のPTA役員構成を見直していく計画です。

■PTA本部

PTA 三役	会 長	城北中学校区4小学校 PTA 代表	顧 問	4小学校 R6 年度 PTA 会長
	副会長	城北中学校区4小学校 PTA 代表	顧 問	4小学校 R6 年度 PTA 会長
	副会長	城北中学校区4小学校 PTA 代表	顧 問	(城北小学校 校長)
	副会長	(城北小学校 教頭)	監 事	4小学校 R6 年度 PTA 会長
	幹事 (庶務)	城北中学校区4小学校 PTA 代表	監 事	4小学校 R6 年度 PTA 会長
	幹事 (会計)	(学校職員)		

■学年PTA

各クラスより、クラス長、子育て委員、広報委員各1名を選出（計3名）。また、子育て委員会、広報委員会で委員長1名、副委員長1名をそれぞれ選出する。

■地区PTA

	柳原地区 PTA	富倉地区 PTA	外様地区 PTA	常盤地区 PTA	瑞穂地区 PTA	太田地区 PTA	岡山地区 PTA
支部長	各地区で支部長1名、副支部長1名を選出						
副支部長							
	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部
	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部	〇〇支部
	・	・	・	・	・	・	・
	(地区内の「〇〇支部」は、地域ごとの活動状況に応じて設置)						

II 児童クラブについて

(1) 検討経過～今後の予定

令和4年7月～11月	4小学校の保護者、区長、児童クラブ運営関係者、教員等で構成する児童クラブ検討委員会において、必要な施設配置・設備等を検討。
令和4年10月～11月	児童クラブに関する保護者アンケートを実施
令和4年11月～ 令和5年12月	児童クラブの運営規定（定員・時間等）の検討、決定
令和6年秋ごろ（予定）	児童クラブ利用申し込み受付
令和7年4月～8月末 （予定）	城北小学校の仮校舎での開校にあわせ、「飯山市勤労青少年ホーム」（現：戸狩児童センター）で城北小学校児童クラブを開所。（令和7年8月末まで）※戸狩児童センターは令和7年3月で閉所
令和7年9月～（予定）	城北小学校の新校舎での授業開始にあわせ、城北小学校校舎内の児童クラブを開所。

(2) 児童クラブ運営規定について（令和5年12月現在）

児童クラブ検討委員会で決定した城北小学校児童クラブ運営規定案（令和5年12月現在）は以下のとおりです。

（令和5年9月開催の地域懇談会で出されたご意見を踏まえ、現在、就労状況等により延長利用が必要な保護者の実態把握と、個別の対応等について、別途検討を行っています。）

対象児童（市内全児童クラブ共通）

- ・保護者が就労等により、昼間自宅に誰もいない世帯の児童等
- ・小学校に就学している児童（低学年優先）

	現行 （4小学校児童クラブ）	運営規定案 （城北小学校児童クラブ）	検討経過
利用定員	100人（4校計） 【R5実登録者数：85人】	120人	施設の規模から算出した最大受入可能人数とした。
開所時間	（平日） 放課後～18時30分 （土曜・平日学校休業日） 8時～18時30分	（平日） 放課後～18時30分 （土曜・平日学校休業日） 8時～18時30分	・令和4年10月に実施したアンケートで「開所時間は現在と同じで良い」と回答した保護者が8割以上であった。 ・開所時間延長のための人材確保が困難。 ・就労状況により延長利用が必要な保護者への対応は実態を把握し検討を進める。（開所時間外の延長利用や、「ファミリー・サポート・センター※」など別の制度を利用した対応等）
※ファミリー・サポート・センター 子育ての手助けをしてほしい方と、子育てのお手伝いをしたい方（保育士資格保有者や事前研修を行った方）がそれぞれ会員として登録し、児童クラブ等の送迎や自宅での預かりなど、子育ての相互援助活動を有償で行う飯山市の制度。			

12 スポーツ活動の再編成

検討経過～今後の予定

令和4年8月～ 令和6年3月	スポーツ少年団関係者及び市スポーツ推進室職員で構成するスポーツ活動再編成分科会において、4小学校のスポーツ活動の実施状況調査や再編成に向けた検討、及び運営関係者も含めた再編成が必要な競技や再編成時期を検討。
令和6年4月～ 令和7年3月（予定）	再編成する競技ごとに、統合後の活動に向けた準備を行う。
令和7年4月～（予定）	準備が整った競技から統合後の活動を開始

【参考】統合する4小学校のスポーツ活動の状況（令和4年度現在）

学校名	課外クラブ等名称	競技	クラブ員の構成
戸狩小学校	戸狩飯山FC	サッカー	自校児童と他校児童混合
	戸狩少年野球クラブ	野球	自校児童のみ
	戸狩剣道クラブ	剣道	自校児童のみ
	戸狩バレーボールクラブ	バレーボール	自校児童と他校児童混合
	アルペンスキークラブ	アルペンスキー	自校児童と他校児童混合
	クロススキークラブ	クロスカントリースキー	自校児童のみ
泉台小学校	泉台XC	クロスカントリースキー	自校児童のみ
	泉台アルペン	アルペンスキー	自校児童のみ
	泉台ジュニア	野球	自校児童のみ
常盤小学校	スキークラブ	クロスカントリースキー	自校児童のみ
	常盤少年剣道クラブ	剣道	自校児童のみ
	長峰北ユニオンズ	野球	自校児童と他校児童混合
東小学校	東小スポーツクラブ	野球	自校児童と他校児童混合
		クロスカントリースキー	
		剣道	

13 校舎後利用

検討経過～今後の予定

令和4年3月～	市役所内の関係部署職員で構成する校舎後利用研究委員会及び公民連携推進課において、民間利活用も含めた閉校後の校舎後利用の方法の研究や、活用を検討する民間事業者への情報提供等を実施。
---------	---

14 保育園適正規模の研究

検討経過～今後の予定

令和4年7月～ 令和5年11月	城北小学校区の4保育園の保護者及び園長で構成する保育園適正規模研究委員会において、現状の保育状況や、城南中学校区も含めた市内全体の今後の望ましい保育の在り方を研究。 （令和4～5年度に6回委員会を開催し、現状と課題を整理）
令和6年2月～	令和5年度中に「（仮称）飯山市未来の保育園のあり方検討会」を立ち上げる予定。

放課後子ども教室(アフタースクール)について

令和7年度開校予定の城北小学校で学ぶ子どもたちが、自己の成長に向けて充実した小学校期を過ごし、自己の興味・関心を広げ、将来なりたい自分の姿に夢と希望を持てるようにするため、放課後の学校施設を活用した「放課後子ども教室(アフタースクール)」を設置します。

- 1 運営主体 城北小中学校コミュニティスクール学校運営協議会
- 2 参加対象 城北小学校 高学年児童(4年生～6年生)の希望者
- 3 スタッフ 城北小中学校コミュニティスクール学校運営協議会で認めた「市民先生」
※「市民先生」… 子どもたちに学習や体験活動などの指導・支援をする地域の方々
- 4 活動日 学校登校日(月曜日～金曜日)
- 5 活動時間 夏期:2時間程度(午後4時～午後6時) 冬期:1時間程度(午後4時～午後5時)
※参加児童のうち徒歩以外の通学区域の児童は路線バス・スクールバスで下校予定
- 6 活動場所 多目的室(地域交流室等)、メディアラウンジ、体育館、特別教室、グラウンド 等
- 7 活動の基本方針
 - (1) 子どもが、自分自身でやりたいことを、自分の責任で選択して、活動に取り組みます。
 - (2) 参加する講座を自分で決め、「市民先生」の支援のもと、工夫して活動を楽しみます。
 - (3) 多様な子どもや「市民先生」との交流を通して、人とのかかわりを広げたり深めたりします。
 - (4) とことん遊んだり活動したりする放課後を、子どもと「市民先生」が共有します。
- 8 開設講座(概要)
 - (1) 「市民先生」の特技を生かした講座や子どもが取り組みたい講座を数種類ずつ設置します。
 - (2) 設置する講座の回数は、市民先生の都合により、1週間に1回でも2回でも可能です。
 - (3) 設置予定の講座例(1週間に15～20回程度の講座数)
英語遊び 英会話 読書 漫画作り 陸上運動遊び スキー遊び キッズダンス 一輪車
囲碁 将棋 絵画工作 絵手紙 合唱 合奏 演劇 郷土食づくり 手芸 編み物 文化財巡り
地域探検 自然観察 理科実験 科学工作 栽培活動 パズル パソコン プログラミング 等

9 期待される効果

【子どもにとって】

- ・市民先生と一緒に多種多様なプログラムで「好き」や「得意」を見つけることができます。
- ・好きなことや得意なことをもつことにより、自分に自信がもて自尊感情が高まります。
- ・放課後に様々な体験をすることで、新しい世界を知り、子どもたちの可能性がより広がります。
- ・より多様な大人や子どもと接することにより、人への対応力が高まります。

【保護者にとって】

- ・家庭で子どもとともに楽しめること(活動や遊びなど)が増え、家庭生活が豊かになります。

【市民先生(指導・支援者)にとって】

- ・未来を担う子どもたちと接する中で、子どもの日々の変化や成長を感じ、元気がもらえます。
- ・自分たちの知恵や経験を子どもたちに伝える機会となり、生きがいのひとつになります。
- ・これまで身につけてきた自分のスキルが生かせ、活動の後継者を育てることにつながります。
- ・生活に潤いと活気が生まれます。
- ・子どもを応援することで、自己有用感が高まります。